

カワウの管理に関する都道府県アンケート結果（抜粋）

	ガイドライン&手引き	レポート	研修会
とても良い	6	5	11
良い	26	24	29
普通	14	17	7
悪い	1	1	0
とても悪い	0	0	0
	47	47	47

特定計画作成のためのガイドライン及び保護管理の手引き（カワウ編）について、下記のうち当てはまるものを選択してください（複数選択可）

カワウの生態や被害の状況などの情報が参考になった	33
調査の方法についての情報が参考になった	20
対策の方法についての情報が参考になった	28
カワウの管理方針や考え方が参考になった	25
鵜的フェーズが参考になった	17
特定計画や任意計画を策定・作成する際に役立った	8
すでに知っている・持っている情報が多く役に立たなかった	1
読みづらい、または内容がわかりにくい	2
業務が忙しく、ほとんど目を通すことができていない	2
十分な部数が配布されていない	1
その他	2

カワウの保護及び管理に関するレポートについて、下記のうち当てはまるものを選択してください（複数選択可）

カワウの生態や被害の状況などの情報が参考になった	23
調査の方法についての情報が参考になった	14
対策の方法についての情報が参考になった	17
カワウの管理方針や考え方が参考になった	10
他の都道府県の事例が参考になった	28
特定計画や任意計画を策定・作成する際に役立った	1
すでに知っている・持っている情報が多く役に立たなかった	0
読みづらい、または内容がわかりにくい	1
業務が忙しく、ほとんど目を通すことができていない	2
十分な部数が配布されていない	2
その他	3

環境省が実施するカワウの保護及び管理に関する研修会に期待することについて、下記のうち当てはまるものを選択してください（複数選択可）

法律や制度についての講義	14
カワウの生態や被害の状況などについての講義	31
調査の方法についての講義	25
対策の方法についての講義	34
カワウの管理方針や考え方についての講義	27
他の都道府県や市町村の事例の共有	36
漁協の事例の共有	25
補助金についての講義	14
グループワークの実施	2
特定計画や任意計画を策定・作成する際に参考となる講義	7
その他	1

特定計画あり（6県）＋策定中（1県）

策定済みの都道府県については、カワウの特定計画を策定したことでのどのような効果があったか、策定検討中の都道府県についてはどのような効果を期待しているか教えてください

（複数選択可）

管理の目的（目標）が明確になった	5
被害防除が進んだ	0
個体群管理（個体数調整・ねぐらやコロニーの分布管理）が進んだ	1
捕獲や被害防除等の役割分担が明確化され実行体制が作りやすくなった	1
管理の科学性・計画性が担保されるようになった	0
利害関係者間の合意形成がしやすくなった	1
地域住民や都道府県民、議会等への説明がしやすくなった	1
予算確保が容易になった	0
事業の継続性が担保されるようになった	1
特にメリットはない	0
策定後間もないため評価に至っていない	2
その他	0

特定計画なし（40都道府県）

特定計画を策定しない理由を教えてください。（複数選択可）

カワウ管理の重要性が低いから （カワウがいない、被害が少ないなどを含む）	13
個体数調整の必要性が低いから （狩猟・有害捕獲等で対応できているなどを含む）	11
狩猟期間の延長等の狩猟制限の緩和を行ってもその効果が限定的だから	7
特定計画にすると策定後も改定などの業務が発生するから	2
特定計画にすると毎年モニタリング調査を継続しなければならないから	4
他の獣類の管理の負担が大きく人手や予算を割くことができないから	15
計画策定の検討体制を確保できなかったから	3
近隣の都道府県が特定計画や任意計画を策定していなかったから	1
カワウが指定管理鳥獣ではないから	3
任意計画で十分だから	9
慣行的に任意計画が策定されてきたため	1
特定計画にすると計画期間が制限されるため	1
特定計画にすると検討会・審議会等の手続きが必要になるため	2
計画的な捕獲について、関係団体等から十分な理解が得られていないため	2
都道府県内でカワウの管理についての業務は、水産行政が主担当となっているから	3
その他	9